

## 第2回学校訪問キャラバン（11月6日）を行いました

### 【長岡市立北中学校を訪問しました】

- ◆ 教育研修コーチング協会の伊佐早 悦子さんから、いじめへの対処の仕方についてのお話をうかがいました。

「いじめをしている人の脳の状態はドーパミンが分泌されて興奮状態にある」「自分の心や命を守るため、いじめから逃げることや助けを求めることは悪いことではない」「信頼できる人に相談することが大切」等のお話がありました。



- ◆ 新潟県地域活性化モデルの今井 美穂さんから、いじめに関するメッセージを伝えていただきました。

自身の体験を基に、「いじめの背景に、いじめる側、いじめられる側の劣等感が心の中にある」「自分のよいところを見つけて自信をもつこと、自分の頑張りをオーラとして発揮することが大切」「心の中の『いじめの種』をなくしていこう」等のお話がありました。



- ◆ アルビレックスチアリーダーズの皆さんから、北中学校の「いじめ見逃しゼロスクール集会」を応援するチアリーディングを披露していただきました。

冒頭の話で、チアリーディングで大切にしていることとして「思いやり」を挙げ、いじめを生まないポイントであることを語っていただきました。



### 【県立長岡大手高等学校を訪問しました】



今井 美穂さんから、高校生の代表の皆さんに、いじめ防止への思いやメッセージをお話していただき、相談窓口カードを渡していただきました。

その後、伊佐早 悦子さんからいじめの対処の仕方に関してまとめたメモと相談電話カードを、県警察本部少年課の西山 賢一 課長補佐からいじめ防止のチラシを、代表生徒に渡していただきました。

最後に、高校生の代表の皆さんや校長先生等とキャラバン隊とが集合写真を撮り、「いじめ見逃しゼロ」の思いを確かめました。